

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス高津ハウス		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 20日		～ 2025年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2024年 12月 20日		～ 2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで個別支援計画が作成されている	毎日の支援の振り返りを行い、地道に記録をつけて分析した状態に基づいてモニタリング、面談を実施し、計画を作成している	より分かりやすい分析方法や、分析に基づいた具体的な改善方法の模索を継続するとともに、その過程を保護者様と共有して行きたい
2	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	相談に対しては常に迅速適切な対応を心がけている。また、自施設で対応できる範囲のこととそうでないことを明確にし、相談支援事業所・学校等に積極的に情報共有及び助けを乞うようにこころがけている	学校との情報連携について不足していると感じているため、より親密な対応ができるようにしていきたい
3	こどもや家族との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	個々の児童の特性に合わせた意思疎通伝達方法を用意する環境設定を心がけている(絵カード・タイマー・砂時計など)	ここに合わせたスケジュールボードなども用意していきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が少ない	家族が参加できるイベント等が実施できていない	年1回程度でも交流会勉強会の機会提供の機会創設を図っていきたい。また、HPでの情報発信を強化したい
2	父母の会の活動支援、保護者回答の開催による保護者通しの交流の機会がない	家族間交流・きょうだい児支援につながる交流の機会がよいういてきていない	年1回でも交流の機会を創設していきたい
3	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図る機会が少ない	地域との交流について、隣の公園の不定期利用や不定期の外出イベントにとどまっている	定期的な交流の機会を模索したい